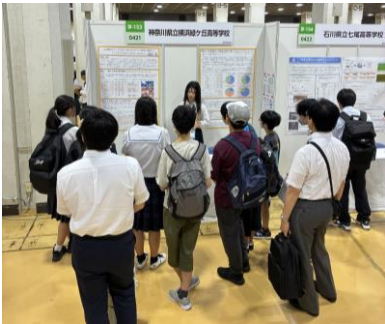


SSH 生徒研究発表会（神戸） 令和7年8月6,7日

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定された全国 230 校のポスター発表会に、本校を代表して 3 年 西 あおい さん。また、見学者として 1 年 渡邊 海来 さんが参加しました。



発表の様子
多いときには 10 人以上集まり、聞いた後に「面白いなあ…」と話している人もしばしば。



自分が興味のある研究については、1,000 人以上の前でも積極的に質問します！

振り返り

【発表者】 3 年 西あおい	本校の発表について、感想を記入してください。（発表者）	【見学者】 1 年 渡邊海来	他校SSHの発表を見た感想を記入してください。
	ポスターだけでなく予備資料も多く活用できたと思う。来てくれた学生も面白いと言ってくれた人が多くて嬉しかった。また探究していて気付かなかった疑問点にも、いただいた質問から気付くことができて、もし受験がなければもっとこのまま研究を続けられたのと思った。全国から人が集まる大会に合わせて導入を工夫したので、その点でいい反応が得られたのにも満足している。		独創的で新規性の高いテーマが多く見られ、大いに刺激を受けた。代表団はどれも熱意に満ちており、交流を通して新しく学ぶことも多かった。また、要旨やポスター発表から特に注目していた二校が、ともに代表校に選ばれいくつかの表彰を受けており、研究に対して自分が審査員の方々に近い適切な着眼点で取り組むことができていたのではないかと考えた。このことは今後自分の研究活動で大切にしたい。他にも、内容の特に優れた研究を分析することでいくつかの共通点を見出すことができた。今回の体験を通して学んだことをまとめ、今後の自分や本校の探究活動に取り入れられるようにしていきたいと思う。
	他校SSHの発表を見た感想を記入してください。		「緑の探究Ⅰ、Ⅱ」で研究に取り組む緑高1,2年生に向けて、伝えたいことやアドバイスを記入してください。
	どの分野でもプログラミング技術やAIの活用が多く見られて、人力では難しいならコンピュータに任せようという発想が実験手法としても効果的だし、探究に深みが出ていてとてもいいと思った。また地域ならではの課題や着眼点もみられて面白かった。		まず大切なことはテーマに対する熱意をもつことであると思う。次に大切なことは科学に携わる人間として主観をできるだけ排除した上でデータに向き合うことだろう。また、学校や本で学ぶ基本的な知識があるからこそできる数学的分析や物質の性質の利用などが多く見られたため普段の授業から理数分野を大切にすべきだと思う。
	「緑の探究Ⅰ、Ⅱ」で研究に取り組む緑高1,2年生に向けて、伝えたいことやアドバイスを記入してください。		SSH生徒研究発表会の全体について、感想を記入してください。
	生物分野Aの講評であった通り、データを出して単に平均を求めるだけで差があると言い切ったりしてしまうのは不適切で、そのために統計的な手法をきちんと学ばなければならないこと。また緑高だとアンケートをはじめとする人文科学の分野が多くなりがちだが、数学や情報、物理などの分野にも視野を広げてみてほしい。今回の要旨集や代表校のタイトル一覧は分野別にまとまっているし、アイデアを得るうえで有効な材料になるのではないと思う。		様々な視点から科学に向き合う多くの学生と交流できたことで学びや刺激が多く、とても有意義な2日間だった。積極的に質問したことや新しい手法や実験装置、ソフトウェアについての情報をいただくこともできた。静岡北高等学校の生徒とは特に多く知識を共有し、類似した分野へ挑戦することへの激励をいただいた。これらのことから積極的な行動は探究活動においても大切だと思った。今回学んだことを活かして探究活動に積極的に取り組み、機会があればまた来年、再来年と参加したい。また、高校以降も一生を通してこのような研究活動に携わりたと思った。
	SSH生徒研究発表会の全体について、感想を記入してください。		